

授業参観：1 学力向上につながる子どもの支援

1 幸せの種類

- ・(0才～小学生) ……してもらう幸せ
- ・(小学高学年～中学生) ……する、できる幸せ ※反抗期(自律・自立に向かう時期)
- ・(中学生～大人) ……してあげる幸せ

2 学力とは何か？

- ・自分と周りの人を幸せにできる力
※できたか？ではなく伸びたか？でみてあげたい。(成長率の考え方)

3 幸せを感じている人の特徴

- ・「私はきっとできる！」 「周りの人はみんな味方！」
【自律】・【貢献】
※自律から貢献に向かうには、【・尊重・共創】の力も必要

4 学習における学校と家庭の関係

- ・学校は、授業で主に「わかる喜び」を味わわせる
(解き方が分かる！・もっとやりたい！)
- ・家庭は、家庭学習で「できる自信」まで高める
(解き直す、くり返し行う、発展問題に挑戦する)

5 1年生の学習目標

- ・自分にあった家庭学習の方法を見つける。～学習方法を試す一年～
《ゴールイメージ》 「私にあった勉強方法は _____ です。」
「私にあった学習時間は _____ : _____ から _____ : _____ です。」

6 3年間で身につけたい2つの習慣

- ・(思考の習慣化) 考えをもつ➡さく➡つくる
…私はこう考える➡気持ちまで聴き取る・質問する➡新しい考えを創り直す
＜方法＞ 探究力(問題発見・解決力)を高める授業
自主学習ノート、昇竜ノート
- ・(行動の習慣化) 自分で決めて行う家庭学習
＜方法＞ RJT(竜神自律タイム)を日課に設定
自主学習ノート、昇竜ノート
学習進度表(1年生は学習計画表もあり……当面の習慣化)

7 まとめ

- ・できる自信を得られる、自分にあった学習方法を見つけたい。

＜参考＞ 脳科学の見地から

- ・行動すると脳内にドーパミンが出てやる気が出る。行動が先、やる気は後。
- ・スマホの利用時間は2時間以内に抑えたい。(3年は1時間以内)
※学習の質を求める前に、まずは量をかせぎ、いろいろな学習方法を試す1年